

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式							
E142L032	情報システム (Information system)						対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択	2	3	教育学部			日本語		単独						
担当教員	氏名 杉山 昇太郎 E-mail sugiyama-s@oita-u.ac.jp 内線 7591													
授業の概要	本演習ではコンピュータのプログラミング言語として、初心者にもわかりやすいpython言語を取り上げ、システムの基礎、プログラム制作、システムの設計の通じて、システムに関する知識を深める。													
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	
目標1	システムについて理解できる。													
目標2	プログラムのしくみと動作が理解できる。													
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)							7		3					
授業の内容														
1	システムとは													
2	いろいろなプログラミング言語													
3	言語の基礎知識													
4	入力・出力命令													
5	四則演算と関数													
6	比較・判断命令													
7	繰り返し命令													
8	配列の処理グラフィック命令													
9	グラフィック命令													
10	簡単なプログラム制作													
11	情報システムの設計													
12	情報システムの構築													
13	情報システムの運用													
14	情報システムでの通信													
15	情報システムのセキュリティ													
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	プログラムの作成を行う					工 夫	そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	様々な情報システムの調査(30h)												
	事後学修	課題プログラムの作成(30h)												
	想定時間合計	60												
教科書	適宜資料を配布する インターネット上のpythonプログラミング, システム構築に関するWebページ													
参考書	プログラミングに関する書籍, Webページ等 中学校学習指導要領解説技術・家庭編 ISBN: 4304021540 高等学校学習指導要領解説 情報編 ISBN430402163: : X													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	演習態度	30%										
	課題レポート	30%										
	制作物	40%										
注意事項	なし											
備考	なし											
リンク												
	URL											